

倉田コミュニティハウス通信

2011年10月号 NO. 59

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800

男の手料理 第8弾 手早くできる中華料理講座



汁なし担々麺や春雨スープなど簡単においしく作れる中華料理です。

＜日時＞2011年11月19日(土)10時～14時

＜定員＞成人男性10名

＜持ち物＞エプロン・三角巾(バンダナ)・筆記用具

＜参加費＞1,500円(一人分の材料費・受講料含む)

＜申込み＞2011年10月22日(土)午前10時から来館・電話にて受付
ます。定員になり次第締め切ります。

* 参加費を添えてお申込み下さい。電話での申込みの場合は当日まで
に来館の上、手続きを御願ひ致します。* キャンセルの場合、参加費の
返金はできませんのでご了承ください。



文化祭(10月29・30日) 音楽発表会開始時間の変更について

音楽室をご利用の方々の日ごろの成果を発表し、交流の場となる、「文化祭
音楽発表会」が10月30日(日)に開催されます。出演希望のグループ多数
のため、第1部:午前10時～ 第2部:午後1時～の開始といたします。
発表会プログラム、作品展などの詳細はお問い合わせください。

10月の予定表詳しくはお問い合わせ下さい。

日			
1(土)	抽選会	午前 10時から 2011年 11月分の抽選会です。	
1・8 15・22 29(土)	3時になったら ラジオ体操プラスお茶	0歳～高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。参加費 100円です。
4(火)	1・2・3クラブ& フリースペース	1歳～未就園児向け の子育て支援です。	申し込みは終了いたしました。 午後 12時から 1時までは フリースペースになります。
8・22 (土)	サックス講座		申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
18(火)	0歳児クラブ	0歳児向けの 子育て支援です。	申し込みは終了しましたが、 ご希望の方はお問い合わせください。
18(火)	フリースペース	親子の遊びスペース	午後 2時から 3時まで
19(水)	ぴよぴよクラブ	8ヶ月～1歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10時から午後 12時まで 定員 30組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 50円です。
21(金)	サロン上倉田	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 午前 10時から午後 2時まで
24(月)	休館日	全館点検のためお休みいたします。	
26(水)	上倉田社協食事会	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 午前 11時半から午後 2時まで
28(金)	ハートぽっぽクラブ	1歳半～2歳半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	午前 10時から午後 12時 30分まで 定員 30組。人数によってはお断りする こともあります。活動費 100円です。
29・30 (土・日)	5周年文化祭		作品展・音楽発表会・そば処 出張パン屋さん・喫茶室など。 お誘いあわせの上、ご来館ください。

子供が小学校に上がり、給食が始まったのを機に、以前やっていたコーラスを始め二十数年になります。音をとるのは楽器をやっている人にはかなわず、「もうちょっと音を高め。」なんて言われても感覚がわかりません。「ピアノが弾けるようになりたい！」というのは長年の夢でしたが、何しろ諸条件が揃わず、そのままになっていました。



「大人のピアノ」という講座を新しくミュージックサロンで募集していましたが、「ピアノが無いからなあ。」と半分あきらめていたところに、倉田コミハで音楽室を借りられることが判り「六十の手習い」でピアノを始めて三年でしょうか。(あっ、歳がわかっちゃう!) コーラスの音取りをしたり、好きな楽曲を歌ったり、ピアノの練習をしているとあっという間に時間が過ぎていきます。いつも、おにぎり・水筒持参です。

コーラスのコンサートの前にはパート練習にも使わせていただきました。

今は来年三月に行われる「メサイア」のコーラスの練習もしています。でもなかなかピアノの腕は上がらず、「弾き語り」なんて出来るのは何時のことでしょうか。

夫も書道の関係で倉田コミハを利用させてもらい、書道を習ったり教えたりしています。夫婦共々、「別々に」、コミハにお世話になっています。建物の木のぬくもり、職員の方々のアットホームな雰囲気もいいですね。 <M. U>

<追>倉田コミハに音楽室をつくるにあたり、建設委員会の方々の行政への熱心な働きかけがあったと先日伺いました。ありがとうございました。



スタッフのひと一言

毎年夏になると故郷の墓参りをする。今年は意図して中3になる孫(男子)を伴った。墓碑には太平洋戦争で戦死した父、叔父達3人の名が刻まれている。父(長男32歳)、次男(30歳)、三男(26歳)である。それぞれサイパン、比島、ビルマの激戦地であった。寺の住職の話では3人以上の戦死者を出した家は町で2軒しか無かったそうだ。

祖父母や母は彼等を送り出し、帰還を待ち、結果、戦死を知らされたその時々気持ちはどのようなものであったろう。彼等のその心情を推測するだけでも耐え難い。その祖父母や母は、今は息子、夫と供に同じ墓で眠っている。

この墓参を機会に、孫に戦争の悲惨さや母達のことを言い伝え、平和の有難さ、尊さを身近に感じさせたかった。彼がこれからどのように生きてゆくか判らないが、平和の礎となった人達のことを忘れずに、平和な人生を歩んでほしいと願うばかりである。

<K. 0>